

科目番号	52018	分類	生殖健康学	履修者	高度実践助産コース	学年	1	
科目名	不妊症・遺伝看護学特論 (Infertility・Genetic Nursing)					1	15	
						配当セスター 前期		
担当者	○朝澤 恭子, 小澤 伸晃	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 遺伝看護の対象となる家族性腫瘍、先天異常、神経難病などの患者および生殖医療の対象者と家族に対するアセスメントやケアを理解する。						1.自律して自然分娩の支援ができる能力	○	
【目標】 1.主な遺伝性疾患の遺伝形式を理解し、クライアントが抱える課題と必要なケアを理解する。 2.遺伝的な課題を持つ人々へのアセスメントの視点を理解する。 3.不妊症の検査および治療を理解し、クライアントが抱える課題と必要なケアを理解する。 4.不妊治療を受ける人々へのアセスメントの視点を理解する。						2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						4.周産期の救急時に対応できる能力		
						5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
						6.研究・開発能力		
						7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	遺伝学の基礎						小澤	
2回	遺伝性疾患							
3回	出生前診断と遺伝カウンセリング							
4回	不妊症の基礎							
5回	不妊症検査と診断							
6回	不妊症治療(含 生殖補助医療)							
7回	不妊症看護の基礎						朝澤	
8回	生殖補助医療の倫理、不妊治療対象者のアセスメント							
事前・事後学習	事前学習：参考図書の該当部分を概観する。 事後学習：配布資料を復習する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。							
評価の方法	授業への参加および学習状況(20%)、レポート課題(80%) プレゼンおよび成果物に関するフィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	デーブル・H・リー(2001). 遺伝看護の実践, 日本看護協会出版会. 安藤広子監修(2002). 遺伝看護, 医歯薬出版. 新川 詔夫, 阿部 京子(2008). 遺伝医学への招待, 南江堂. 荒木重雄, 浜崎京子(2009). 不妊治療ガイドンス, 医学書院							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							